

7月の園だより

2019年6月25日発行
名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園



まことの光が輝く

園長 加藤 明宏

木陰が嬉しく感じる季節がやってきました。園舎の全面建て替えにもかかわらず、大きな木2本が園庭に残り、心地よい木陰を私たちに与えてくれます。「ここは涼しくて気持ちいいよね」と子どもたちはその木陰を楽しむように、日陰に群れて遊んでいる姿があります。いつの日か今春植えた桜とイチヨウの苗木が大きく成長し、今の子どもたちの2世がその木陰を嬉しく思ってくれる日が来るのだろうかと考えながら、夏に向かう日差しをまぶしく眺めています。

7月の主題聖句は、「まことの光が輝いているからです」（ヨハネの手紙 I 2：8）です。この聖句の後には「兄弟を愛する人は、いつも光の中におり、その人はつまずきがありません」と続きます。ご家族の愛に包まれて育つ子どもたちは、光の中において家族と一緒にいるのが楽しいという生活を送り、闇の中でつまずくことはありません。友だちや先生と一緒にいるのが楽しいと感じてくれたら、人との信頼関係を学び、信じることに繋がっていきます。まことの光が輝き、子どもたちを包み込んで、すべての子どもたちが、毎日の幼稚園生活を楽しくしてくれたらと願います。

「触れてみる・試す」が月の主題です。水や砂に触れてみることで、子どもたちはその感触を味わい、楽しむことができます。水や砂は子どもたちにとって、「鬼に金棒」とも言うべき最強の組み合わせの外遊び（玩具）ではないでしょうか。年少のある子どもは、気が付くといつも水道のそばにいます。そして蛇口をひねって水を出し、手を濡らしたり、また水を止めて、ひねったり・・・とこのくりかえし。次には勢いよく水を出して、そのしぶきの勢いを楽しんでいます。思わず「もったいないよ。もうおしまい。」と叫びたくなりますが、「こんなに楽しんでいるから、もう少し様子を見ようか」「クラスの子もたちが複数ずぶぬれになったら、先生は着替えが大変だろうな」などなど、考えてしまいます。試行錯誤の中で、様々なことを試しながら、子どもは考えたり、学んだり、失敗してもう一度試したり・・・。このような姿にこそ、子ども一人ひとりの興味関心の芽生えと自分から動き出す機会があり、また1人の取り組みが2人の楽しみとなり、そして仲間の遊びに育っていくプロセスがあると思います。過日のプール開きでは、西園庭にあるプールの前に、幼児の子どもたちが全員集まりました。箭野チャブレンから、この夏の水からの安全と、子どもたちとご家族の健やかな生活をお祈りしていただきました。夏の季節、様々な水との触れ合い方を楽しみたいものです。

2019年度の年主題：ことばに満たされて～ひびきあう～

7月の主題	月のねがい
試す	<ul style="list-style-type: none"> ・祈りたい気持ちがめばえ、表そうとする ・たっぷりとした時間の中で試したり、考えたり、失敗してももう一度やってみようとする ・楽しいことを重ねる中で、様々なことへの興味関心を広げる ・砂遊びや造形を通して、創造することや表現することを楽しむ
聖句	まことの光が輝いているからです。（ヨハネの手紙 I 2章8節）

7月の予定

マークの説明…T=体操

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 T年長	3 T年中・年少	4 たべまる君 (年中)	5 七夕まつり 避難訓練	6
7	8	9 T年長	10 T年中・年少	11 すいか割り (ぬれおしほり) (年長：目隠し) 夏の交通安全 市民運動 (～20日)	12 誕生会 (7・8月)	13
14	15 祝	16 観劇会 牛乳パック回収	17	18 流しそうめん (お弁当)	19 終業式 (一日保育)	20 お祭りわっしょい! (年長) おひろめ会 ・同窓会
21	22	23	24	25 授業料引落し	26	27 リトルおいでん (年長有志)
		夏の預かり保育		乳児個別懇談(希望者)		
28	29	30 サマースクール (年長)	31	8/1	8/2	8/3
		夏の預かり保育				

